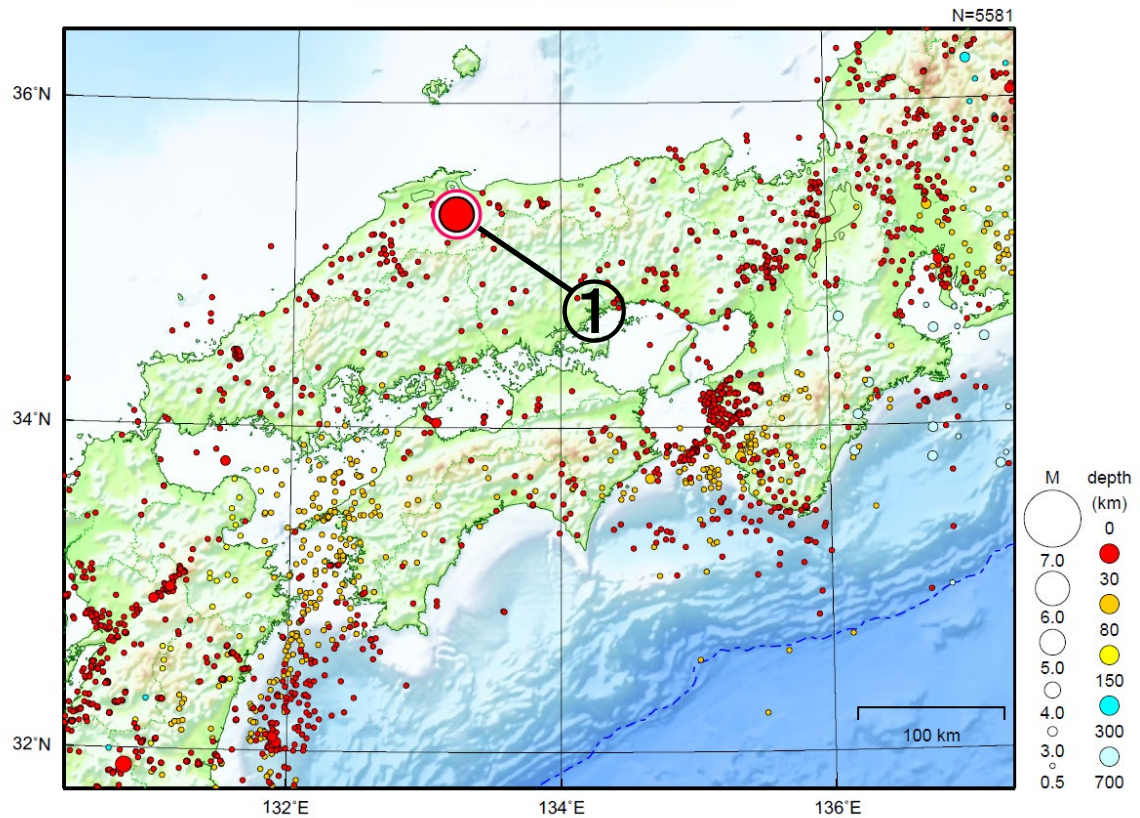


# 近畿・中国・四国地方

2026/01/01 00:00 ~ 2026/01/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 1月6日に島根県東部で M6.4 の地震（最大震度 5 強）が発生した。島根県東部では 1 月 6 日から 31 日までに震度 1 以上を観測する地震が 58 回（震度 5 強：1 回、震度 5 弱：1 回、震度 4：1 回、震度 3：6 回、震度 2：16 回、震度 1：33 回）発生した。

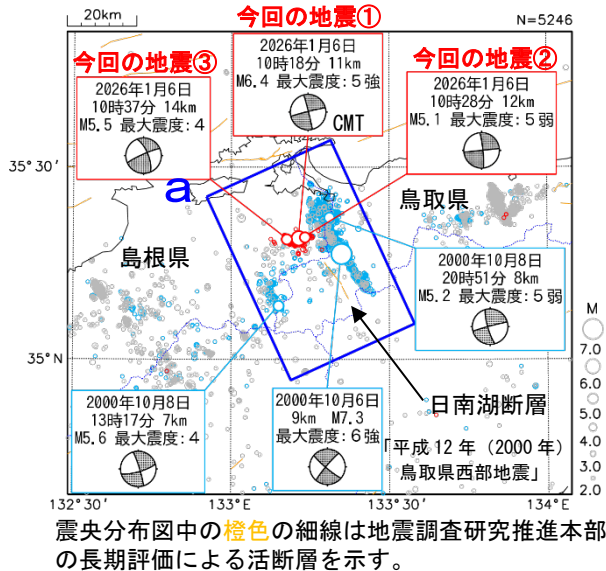
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

# 1月6日 島根県東部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2026年1月31日、  
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$ )  
2000年10月～2003年9月の地震を**水色**、  
2026年1月の地震を**赤色**、  
上記以外の期間の地震を**灰色**で表示

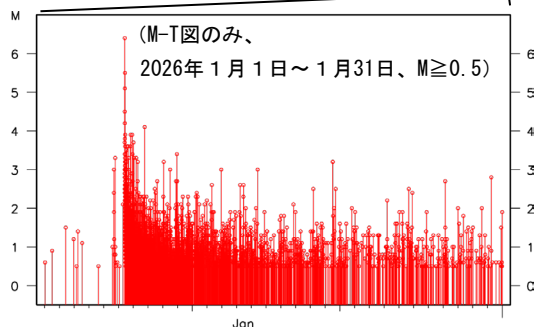
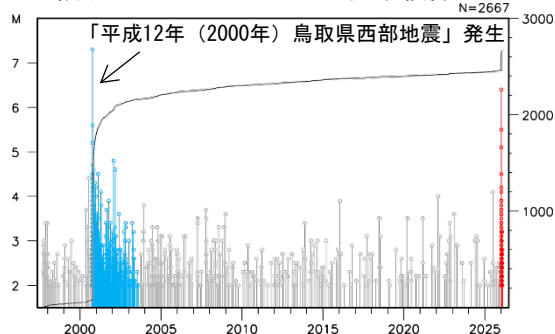


2026年1月6日10時18分に島根県東部の深さ11kmで $M6.4$ の地震(最大震度5強、図中①)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構(CMT解)は、西北西―東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の震央付近では、5日16時43分に $M3.0$ の地震(最大震度1)及び同日18時42分に $M3.3$ の地震(最大震度2)が発生した。また、 $M6.4$ の地震発生後には、6日10時28分に $M5.1$ の地震(最大震度5弱、図中②)及び同日10時37分に $M5.5$ の地震(最大震度4、図中③)が発生するなど、 $M5.0$ を超える地震が発生した。6日から31日までに震度1以上を観測した地震が58回(震度5強: 1回、震度5弱: 1回、震度4: 1回、震度3: 6回、震度2: 16回、震度1: 33回)発生した。この地震により、負傷者15人、住家一部破損114棟の被害が生じた(被害は2026年1月14日17時00分現在、総務省消防庁による)。

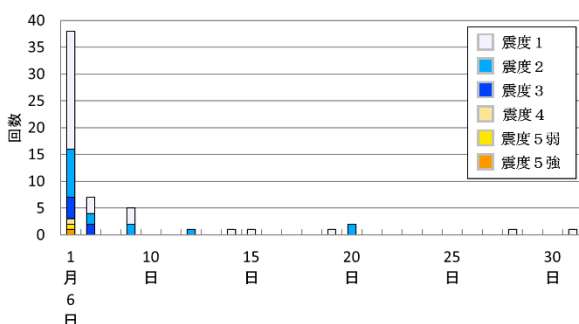
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)では、「平成12年(2000年)鳥取県西部地震」が発生している。この地震により、負傷者182人、住家全壊435棟などの被害が生じた(被害は総務省消防庁による)。

1919年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、 $M6.0$ 程度の地震が時々発生している。このうち、1943年9月10日に発生した $M7.2$ の地震(鳥取地震、最大震度6)では、死者1,083人、住家全壊7,485棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図



最大震度別地震回数(日別)  
(2026年1月6日～1月31日、震度1以上)

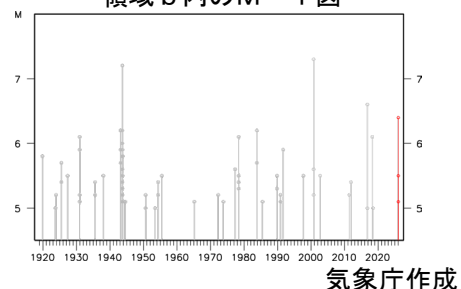


震央分布図

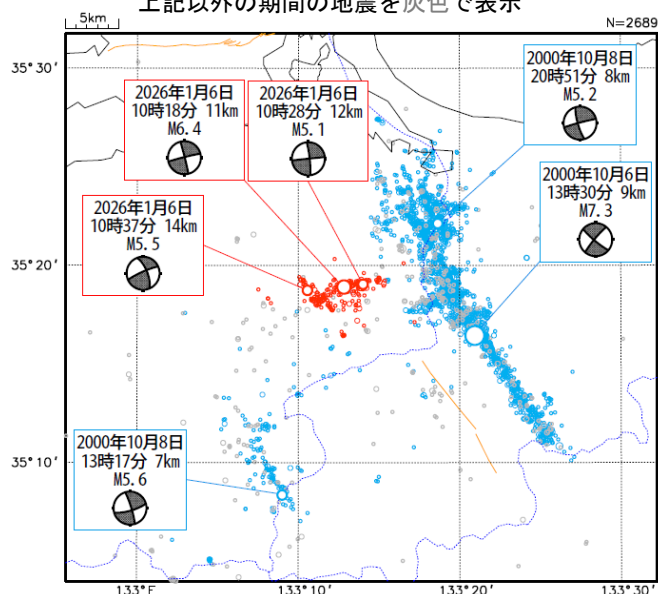
(1919年1月1日～2026年1月31日、  
深さ0～30km、 $M \geq 5.0$ )  
2026年1月の地震を**赤色**で表示



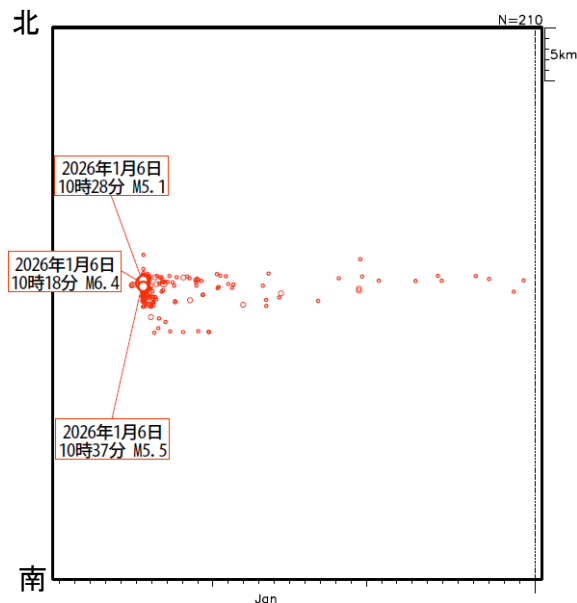
領域b内のM-T図



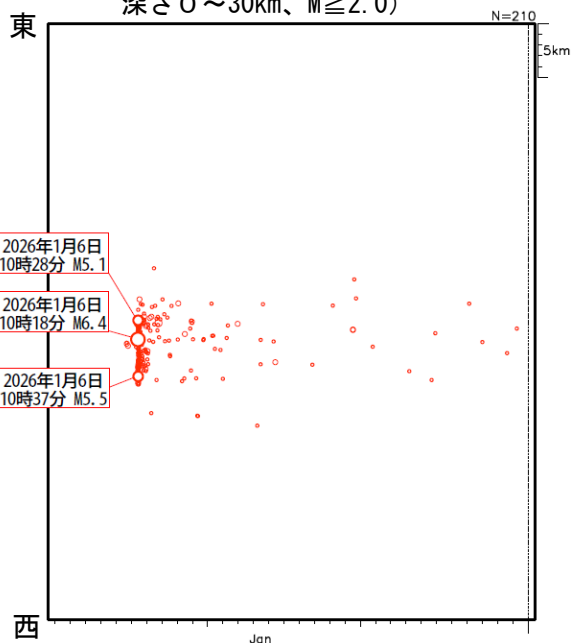
震央分布図（前ページの拡大図）  
 (1997年10月1日～2026年1月31日、  
 深さ0～30km、 $M \geq 2.0$ )  
 2000年10月～2003年9月の地震を**水色**、  
 2026年1月の地震を**赤色**、  
 上記以外の期間の地震を灰色で表示



震央分布図内の時空間分布図（南北投影）  
 (2026年1月1日～1月31日、  
 深さ0～30km、 $M \geq 2.0$ )



震央分布図内の時空間分布図（東西投影）  
 (2026年1月1日～1月31日、  
 深さ0～30km、 $M \geq 2.0$ )



震央分布図内のM-T回数積算図  
 (2026年1月1日～1月31日、  
 深さ0～30km、 $M \geq 2.0$ )

